

様式第 1 号

令和 3 年 6 月 2 9 日

高知県知事

濱田 省司 殿

〔設置者の名称〕 学校法人すみれ学園

〔代表者の役職 理事長 〔代表者の氏名〕 内田 信式

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	高知福祉専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <b>専門学校</b> )
大学等の所在地	高知県高知市南はりまや町 2 丁目 16 番 6 号
学長又は校長の氏名	校長 内田 信式
設置者の名称	学校法人すみれ学園
設置者の主たる事務所の所在地	高知県高知市菜園場町 7 番 13 号
設置者の代表者の氏名	理事長 内田 信式
申請書を公表する予定のホームページアドレス	<a href="http://www.kochifukushi.ac.jp">http://www.kochifukushi.ac.jp</a>

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。

確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取

り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	総務部 浜野真治	088-884-8501	hamano-sumiregakuen@live.jp
第2号の1	副校長 山田英俊	088-884-8484	wf@kochifukushi.ac.jp
第2号の2	総務部 浜野真治	088-884-8501	hamano-sumiregakuen@live.jp
第2号の3	副校長 山田英俊	088-884-8484	wf@kochifukushi.ac.jp
第2号の4	財務部 湯城紀幸	088-882-3000	smc-c@shikoku-mec.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高知福祉専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
福祉専門課程	社会福祉学科	夜・通信	57単位	9単位	
	介護福祉学科	夜・通信	84単位	6単位	
	こども福祉学科 幼児教育コース	夜・通信	48単位	6単位	
	こども福祉学科 保育士コース	夜・通信	48単位	6単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務職員に申し出のうえ、事務室保管の「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧を閲覧
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高知福祉専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務職員に申し出のうえ、事務室保管の「理事（役員）名簿」を閲覧

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立学校元教員	平成30年7月7日～令和4年7月6日	「人事」「労務」「法務」「財務」の決定、執行
非常勤	国立大学・公立大学 名誉教授	令和元年11月9日～令和4年7月6日	「人事」「労務」「法務」「財務」の決定、執行
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高知福祉専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)については、次年度の教科担当者が1～2月頃に所定の書式にて作成、提出をしている。</p> <p>提出された授業計画(シラバス)は各学科で取りまとめ年度当初のオリエンテーション時に学生に配布、公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>事務職員に申し出のうえ、事務室保管の「授業計画書」を閲覧</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は単に試験の成績だけで行うものではなく、試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポート等の提出状況を加味した上で総合的に行う。出席日数が講義・演習は2/3、実習は4/5以下の場合は単位を認定しない。</p> <p>成績評価は、100点満点とし、80点以上をA評価 70点～80点未満をB評価 60点～70点未満をC評価 60点未満をD評価とし、D評価を不合格としている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標として、以下のような方法を行い設定している。 成績評価は100点を満点とし、履修科目の評価の合計及び平均点により順位を算出している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>事務職員に申し出のうえ、事務室保管の「客観的な指標の算出方法」を閲覧</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生一人ひとりがエキスパートとしての専門技術や知識の修得はもちろん、レベルの高い実践教育により、福祉に携わる上で必要な「優しさ」と「思いやり」のある豊かな心を持った人になっていること及び下記の卒業認定条件をクリアした者を卒業と認定する。</p> <p>卒業認定条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 卒業に必要な単位数を取得した者</li> <li>② 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者</li> <li>③ 校長、学科長、専任教員による卒業判定会議において、卒業可と判定された者</li> </ul> <p>卒業認定条件については、入学時に行う新入生オリエンテーションにおいて、学生便覧等を用いて、学生に十分理解させ周知徹底している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>事務職員に申し出のうえ、事務室保管の「卒業の認定に関する」を閲覧</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高知福祉専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務職員に申し出のうえ、事務室保管の「貸借対照表」を閲覧
収支計算書又は損益計算書	事務職員に申し出のうえ、事務室保管の「収支計算書」を閲覧
財産目録	事務職員に申し出のうえ、事務室保管の「財産目録」を閲覧
事業報告書	事務職員に申し出のうえ、事務室保管の「事業報告書」を閲覧
監事による監査報告（書）	事務職員に申し出のうえ、事務室保管の「監事による監査報告」を閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉関係		福祉専門課程	社会福祉学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	128 単位時間/単位	単位時間 88/単位	単位時間 55/単位	単位時間 20/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
			163 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		40人	0人	8人	43人	51人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 履修方法は講義・演習・実習の3つとする。 週間授業日は原則月～金曜日とし土曜日は家庭学習とする。 年間授業計画は、年度当初のオリエンテーション時に学生に配布・公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は単に試験の成績だけで行うものではなく、試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポート等の提出状況を加味した上で総合的に行う。 出席日数が講義・演習は2/3、実習は4/5以下の場合には単位を認定しない。 成績評価は、100点満点とし、80点以上をA評価 70点～80点未満をB評価 60点～70点未満をC評価 60点未満をD評価とし、D評価を不合格としている。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定条件 ① 卒業に必要な単位数を取得した者 ② 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 校長、学科長、専任教員による卒業判定会議において、卒業可と判定された者
学修支援等
(概要) クラス担任制で学生との定期的な面談・指導の実施。 必要時には、保護者を交えた面談の実施。 成績に応じた補習・補講・個別指導の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	11人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 児童福祉施設、障害者（児）施設、保育所、幼稚園、一般企業			
(就職指導内容) 就職指導（講義）、個別面談、就職試験対策の実施 就職ガイダンスへの参加			
(主な学修成果（資格・検定等）) 社会福祉士（受験基礎資格） 保育士 幼稚園教諭2種免許 社会福祉主事任用資格 介護職員初任者研修			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	1人	2%
(中途退学の主な理由) 学力的問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席状況、習熟度状況を確認し、面談を実施し学生の状況を教員が把握 退学希望者よりヒアリングを行い退学回避に努める		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉関係		福祉専門課程	介護福祉学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	91 単位時間/単位	単位時間 60/単位	単位時間 27/単位	単位時間 10/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
			97 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		29人	0人	3人	6人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
（概要） 履修方法は講義・演習・実習の3つとする。 週間授業日は原則月～金曜日とし土曜日は家庭学習とする。 年間授業計画は、年度当初のオリエンテーション時に学生に配布・公表している。						
成績評価の基準・方法						
（概要） 成績評価は単に試験の成績だけで行うものではなく、試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポート等の提出状況を加味した上で総合的に行う。 出席日数が講義・演習は2/3、実習は4/5以下の場合には単位を認定しない。 成績評価は、100点満点とし、80点以上をA評価 70点～80点未満をB評価 60点～70点未満をC評価 60点未満をD評価とし、D評価を不合格としている。						
卒業・進級の認定基準						
（概要） 卒業認定条件 ① 卒業に必要な単位数を取得した者 ② 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 校長、学科長、専任教員による卒業判定会議において、卒業可と判定された者						
学修支援等						
（概要） クラス担任制で学生との定期的な面談・指導の実施。 必要時には、保護者を交えた面談の実施。 成績に応じた補習・補講・個別指導の実施						

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 ( 0%)	11人 (100%)	0人 ( 0%)
（主な就職、業界等） 介護保険法に規定された施設・事業所、障害者（児）施設、救護施設			
（就職指導内容） 就職指導（講義）、個別面談、就職試験対策の実施 就職ガイダンスへの参加			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士、レクリエーションインストラクター、全国手話検定、ケア・コミュニケーション検定、Excel 検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	1人	3%
（中途退学の主な理由） 学力的問題		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席状況、習熟度状況を確認し、面談を実施し学生の状況を教員が把握 退学希望者よりヒアリングを行い退学回避に努める		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉関係	福祉専門課程	こども福祉学科 幼児教育コース	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	87 単位時間/単位	単位時間 40/単位	単位時間 48/単位	単位時間 16/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
			104 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100人	31人	0人	8人	28人	36人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>履修方法は講義・演習・実習の3つとする。 週間授業日は原則月～金曜日とし土曜日は家庭学習とする。 年間授業計画は、年度当初のオリエンテーション時に学生に配布・公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価は単に試験の成績だけで行うものではなく、試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポート等の提出状況を加味した上で総合的に行う。 出席日数が講義・演習は2/3、実習は4/5以下の場合は単位を認定しない。 成績評価は、100点満点とし、80点以上をA評価 70点～80点未満をB評価 60点～70点未満をC評価 60点未満をD評価とし、D評価を不合格としている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定条件</p> <p>① 卒業に必要な単位数を取得した者 ② 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者</p> <p>校長、学科長、専任教員による卒業判定会議において、卒業可と判定された者</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制で学生との定期的な面談・指導の実施。 必要時には、保護者を交えた面談の実施。 成績に応じた補習・補講・個別指導の実施</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	10人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 児童福祉施設、障害者（児）施設、保育所、幼稚園、認定こども園			
（就職指導内容） 就職指導（講義）、個別面談、就職試験対策の実施 就職ガイダンスへの参加			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士 幼稚園教諭2種免許 社会福祉主事任用資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席状況、習熟度状況を確認し、面談を実施し学生の状況を教員が把握 退学希望者よりヒアリングを行い退学回避に努める		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉関係	福祉専門課程	こども福祉学科 保育士コース	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	91 単位時間/単位	単位時間 40/単位	単位時間 48/単位	単位時間 12/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
			100 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100人	44人	0人	8人	28人	36人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>履修方法は講義・演習・実習の3つとする。 週間授業日は原則月～金曜日とし土曜日は家庭学習とする。 年間授業計画は、年度当初のオリエンテーション時に学生に配布・公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価は単に試験の成績だけで行うものではなく、試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポート等の提出状況を加味した上で総合的に行う。 出席日数が講義・演習は2/3、実習は4/5以下の場合は単位を認定しない。 成績評価は、100点満点とし、80点以上をA評価 70点～80点未満をB評価 60点～70点未満をC評価 60点未満をD評価とし、D評価を不合格としている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定条件</p> <p>① 卒業に必要な単位数を取得した者 ② 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者</p> <p>校長、学科長、専任教員による卒業判定会議において、卒業可と判定された者</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制で学生との定期的な面談・指導の実施。 必要時には、保護者を交えた面談の実施。 成績に応じた補習・補講・個別指導の実施</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	15人 (94%)	1人 (6%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>保育所、児童福祉施設、障害者（児）施設、一般企業</p>			

(就職指導内容) 就職指導（講義）、個別面談、就職試験対策の実施 就職ガイダンスへの参加
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士 レクリエーションインストラクター、全国手話検定、Excel 検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	1人	2%
(中途退学の主な理由) 健康面の問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席状況、習熟度状況を確認し、面談を実施し学生の状況を教員が把握 退学希望者よりヒアリングを行い退学回避に努める		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
社会福祉 学科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	施設費等 18 万円 教育機材整備費 10 万円 実験実習費 5 万円
介護福祉 学科	200,000 円	700,000 円	380,000 円	施設費等 18 万円 教育機材整備費 10 万円 実験実習費 10 万円
こども福祉 学科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	施設費等 18 万円 教育機材整備費 10 万円 実験実習費 5 万円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己評価表をホームページにて公表		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な評価項目 教育課程、学校運営の状況、進路状況等</li> <li>・評価委員会の構成 資格関係団体 (介護福祉士・保育士)、高等学校、在校生保護者、卒業生の 5 名 (定数) とする。</li> <li>・評価結果の活用方法 緊急性の高い改善必要事項は速やかに責任者を任命し、改善を行う。 内容が長期的な対応が必要な事項は毎年 1 回開かれる学校関係者評価委員会にて報告し、改善の方向性を決める。</li> </ul>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
高等学校元教頭	令和 2 年 4 月～令和 4 年 3 月	高等学校
高知県介護福祉士会	令和 2 年 4 月～令和 4 年 3 月	介護福祉士
江陽保育園	令和 2 年 4 月～令和 4 年 3 月	保育士
特別養護老人ホーム ウエルブラザ洋寿荘	令和 2 年 4 月～令和 4 年 3 月	在校生保護者
介護老人福祉施設 三宝荘	令和 2 年 4 月～令和 4 年 3 月	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.kouchifukushi.ac.jp">http://www.kouchifukushi.ac.jp</a>		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<http://www.kouchifukushi.ac.jp>



(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H139310000108
学校名	高知福祉専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		34人	33人	35人
内 訳	第Ⅰ区分	21人	20人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				35人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		-	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。